一般社団法人 神奈川県作業療法士会

2018年8月発行

# 県士会ニュース

No. 192

Kanagawa Association of Occupational Therapists —KAOT—

Contents

TOPIC

2018年度 第5回社員総会（代議員総会）報告 …… 2

平成30年度 日本作業療法士協会　特別表彰受賞　報告
平成30年度 神奈川県作業療法士会 「特別功労表彰」「功労表彰」受賞　報告 …… 5

巻頭言 …… 1
「新人会員オリエンテーション2018」に行ってきたよ …… 2
各部からの報告 …… 4
連載コラム　ちょっと一杯どうですか？ …… 8
理事会報告 …… 9
研修会案内 …… 10
事務局からのお願い …… 11
作品コーナー …… 12
編集後記 …… 12

## 巻頭言

## 一般社団法人 日本作業療法士協会 平成30年度 定時社員総会 “作業療法の定義”が改訂される

平成30年度　定時総会　議長
神奈川県作業療法士会　会長
錠内 広之

去る、5月26日（土）、日経ホールにて日本作業療法士協会（以下OT協会）の平成30年度定時社員総会が開催されました。OT協会も神奈川県士会に先立ち、数年前より代議員制度の下、社員総会が開催されています。神奈川県に割り当てられている代議員数は8名であり、全国より200名を超える代議員が参加していました。

定時総会と言うことでは、前年度の事業報告や今年度の事業計画を中心に審議されますが、今年の大きなトピックスとして、表題にあるように“作業療法の定義”の改定について審議されました。現行定義は1985年にOT協会が定めたものです。改訂の理由としては、「現行の定義では多様化する作業療法の職能を充分表現できなくなってきた」というもので、今回の審議に至るまで約5年間検討を重ねてきました。改定された定義は右記です。

本文は簡潔にまとまりましたが、註釈がこれだけ必要になります。“多様化する作業療法”とは、OTであれば誰もが理解するところではありますが、これが分りにくくさせている原因でもあります。しかしながら、この“多様化”が作業療法の核であることもまた事実であり、新たな定義のもとさらなる多様化に向けて、個々の作業療法士の活躍に期待するところです。

作業療法は、人々の健康と幸福（こうふく）を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点をあてた治療、指導、援助である。作業とは、対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。

（註釈）

・作業療法は「人は作業を通して健康や幸福になる」という基本理念と学術的根拠に基づいて行われる。
・作業療法の対象となる人々とは、身体、精神、発達、高齢期の障害や、環境への不適応により、日々に作業に困難が生じている、またはそれが予測される人や集団を指す。
・作業には、日常生活動作、家事、仕事、趣味、遊び、対人交流、休養など、人が営む生活行為と、それを行うのに必要な心身の活動が含まれる。
・作業には、人々ができるようになりたいこと、できる必要があること、できることが期待されていることなど、個別的な目的や価値が含まれる。
・作業に焦点を当てた実践には、心身機能の回復、維持、あるいは低下を予防する手段としての作業の利用と、その作業自体を練習し、できるようにしていくという目的としての作業の利用、およびこれらを達成するための環境への働きかけが含まれる。

# 2018年度 第5回社員総会（代議員総会）報告

事務局長　金山　桂

平成 30 年 5 月 27 日（日）、かながわ労働プラザにおいて、第 5 回社員総会が開催されました。代議員総数 70 名の内、参加者 43 名、委任状 27 通で総会は成立しました。田中秀和議長（自宅会員）のもと、第 1 ～ 4 号議案について審議され、すべての議案が賛成多数で承認されました。

平成 30 年度の事業計画である第 1 号議案では、ブロック（エリア）化に向けた検討と取り組みについてスライドを用いて説明がありました。神奈川県作業療法士会も会員数が 2000 名を超えました。会員組織力の向上と地域社会との関係性向上を目指し、ブロック（エリア）化を検討していきます。ブロック（エリア）化については今後ニュースやウェブサイトでも報告していきますのでご注目ください。

総会終了後には表彰式があり、平成 30 年度日本作業療法協会特別表彰を受賞されました杉本由美子先生と一般社団法人神奈川県作業療法士会功労賞を受賞されました中村光枝先生が表彰されました。おめでとうございます！

最後になりましたが、今期より新しい代議員の皆さんとともに 2 年間の総会運営を行っていきます。今回の総会でも事業内容と予算の比率や研修会の回数についてなど県士会運営について具体的なご意見をいただきました。皆さんの声をよりよい県士会になるよう反映していきます。

● ぴぐめい編集長の取材シリーズ

# 「新人会員オリエンテーション2018」に行ってきたよ

今年も新入会員向けにオリエンテーション研修会が、福利部・学術部合同企画として 6/17（日）に長津田・IMS 横浜国際看護専門学校にて開催されました。ここに私、ぴぐめい編集長も参加して参りました！

県士会について説明する玖島理事

参加者は 78 名と非常に盛況でした。会場はかなり大きい教室でありましたがほとんど後ろまで埋まっている状況です。新入会員向け企画と言えども、2 ～ 5 年目の方が 13 名、6 ～ 9 年目の方も 4 名、そして 10 年目以上の方も 4 名参加されておりました。他の県士会からの参加の方もあったとのことでした。

前半は東京工科大学・友利幸之介先生が『新人のうちに身につけたい作業療法の専門性』と題しご講義をされました。この内容が大変濃密でした。先生の関わられた定義改訂のお話から始まり、EBP の重要性と文献検索について、職場で働く立場と姿勢に関するセルフケアマネジメント、研究と大学院進学のこと、職能団体活動への参加、プライベートについてなど、非常に多岐にわたり重要なお話をされていました。私も新人の時にこういう話を聞きたかったなあ…。途中、参加者の方が担当する対象者の方を PICO に当てはめて理解する体験や、実際にスマホを使っての文

献検索などもあり非常に実用的な研修でもありました。

後半は毎年恒例の立食懇親会でした。理事も福利部・玖島理事と学術部･佐々木理事のほか、副会長の野々垣理事、木村理事、事務局･金山理事、村越理事、教育部･奥原理事、認知症対策委員会・佐藤理事、広報部・神保理事も参加し賑やかな場となりました。今年は階段横の吹き抜けがある、とても明るい場所が会場でした。ちょうどお昼ですこしおなかも減った頃。参加者の皆さんは食べ物に箸を伸ばしつつ、新しく知り合う仲間とすこしづつ距離を縮めてゆきました。また参加の方の中には、理事を務める出身校の先生に再会し、近況を報告したり写真を撮るような場面も見られました。最後は全員での一本締めの後、玖島理事による参加者全員への「お土産にお菓子を手に持ったかチェック」も入り、大団円を迎えました。

本企画には学術部から７名、福利部から３名のスタッフが参加し、運営をされていました。ご準備はじめ関わられたスタッフの方々、大変お疲れ様でした。

（文責：ぴぐめい）

友利先生の講義を熱心に聴く参加者

スマホを手に文献検索演習

これから懇親会はじまるよー

みなさんどうもはじめまして

食べていいんですか！頂きます

みなさん、これからもよろしく！

# 各部からの報告

## 認知症対策委員会

### ■認知症シンポジウム by 認知症をにんちしよう会 ～県西より認知症を地域で支えるメッセージ～

去る５月 20 日、小田原にて認知症シンポジウムなる春のイベントが催されました。このシンポジウムを企画したのは「認知症をにんちしよう会」。当会は小田原市と箱根・真鶴・湯河原の足柄下郡３町にわたる地域において、「認知症を地域全体で連携して支えたい」との共通意思を持った人たちが作り上げています。いわば地域における他職種連携の試みなのですが、当会は発足から４年目、現在では地域の行政を巻き込み、医師・歯科医師・薬剤師・介護支援専門員などの専門職、福祉施設・訪問看護・認知症疾患医療センター・地域包括支援センターなどによる多数団体が参画する組織に膨れ上がっています。我が神奈川県作業療法士会も当会に参画して３年目になりました。

さて今回の認知症シンポジウムですが、「認知症の方が住みやすいまちづくりを目指して」をテーマに、特別講演とシンポジウムとの２部構成で企画されました。前半の特別講演では、当会の会長である武井内科医院の武井和夫先生より認知症予防のお話がありました。生活習慣病対策からまちづくりまで、実に幅広い視点から丁寧に認知症予防を説明され、とても分かり易かったと思います。

後半は各団体の代表によるシンポジウムです。お題は「みんなにやさしいまちを目指して」。我が神奈川県作業療法士会からは理事の佐藤良枝氏がシンポジストとして、認知症の方の作業療法について熱く語られました。

～「たとえ認知症になったとしても、私が私であることに変わりはない」ということを、作業体験を通してその方

自身が再体験・再確認できるように援助するのが私たち作業療法士の仕事です～

今回の認知症シンポジウムはまことに盛況のうちに終えることができました。このようなイベントが地域にあることが、認知症の方やそのご家族に対する「認知症を地域で支える準備がある」とのメッセージになればと思います。私自身、作業療法士として当会の中にいると、「同じ方向を向いている仲間が地域にいる」と頼もしく感じられるのです。さて当会は春のイベントを終えると同時に、すでに秋、９月のイベントに向けて走り出しています。秋のイベントの開催については後日、神奈川県作業療法士会ホームページ内の認知症対策委員会のブログ「オレンジ☆マルシェ」で予告します。認知症を地域で支えたい方、地域のイベントに興味のある方、そして同じ方向を向く仲間の存在を感じたい方はぜひ来場して雰囲気を味わって下さい。

（文責：小澤 隆）

# 福利部

## ■平成 30 年度 日本作業療法士協会 特別表彰受賞　報告

NPO 法人重度身体障害者と共に歩む会の杉本由美子氏が平成 30 年度日本作業療法士協会「特別表彰」を受賞しました！特別表彰は日本作業療法士協会が指定する領域のいずれかにおいて、「顕著な功績または規範として推薦に値する業績があること」と、その業績をもって「本会の発展に著しく寄与した」に適っていることが要件となっています。

杉本氏は、主に発達領域、養護学校などの教育現場と行政において児童生徒の養護訓練とその指導に多大な貢献があり、特に教員研修への作業療法士などの参画を進められました。また障害児教育の総合的支援システムの構築に尽力されるなど教育領域における職域の拡大に大きく寄与されました。その功績が高く評価され、この度、特別表彰が授与されました。今後も神奈川県ならびに日本の作業療法の発展にますます寄与されていくことと存じます。

杉本由美子先生のご受賞を心よりお祝い申し上げます。

## ■平成 30 年度 神奈川県作業療法士会「特別功労表彰」「功労表彰」受賞　報告

平成 30 年度より、神奈川県作業療法士会「特別功労表彰」及び「功労表彰」を創設しました。この表彰は、作業療法の発展や職能向上、県士会活動の発展に寄与された会員を対象に表彰を行います。今年度は、「特別功労表彰」を 3 名の先生方が、「功労表彰」を 5 名の先生方が受賞されました。5 月 27 日の社員総会では、授賞式が執り行われ、受賞者を代表して、中村光枝先生にご臨席頂きました。今後も神奈川県ならびに日本の作業療法の発展にますます寄与されていくことと存じます。先生方のご受賞を心よりお祝い申し上げます。

**「特別功労表彰」**

・田中 節子先生　・土岐 玲子先生　・鶴見 隆彦先生

**「功労表彰」**

・三宅 久子先生　・菅井 京子先生　・中村 光枝先生
・畠中 佳代子先生　・原沢 祐子先生

（文責：畠中・玖島）

# ウェブサイト管理委員会

## ■県士会への入会方法はこちら

職場の新人さんたちは「県士会」に入会しましたか？
「入会」を勧めてください！

入会案内

入会手続き

# 地域リハビリテーション部

## ■第９回 訪問リハビリテーション地域リーダー会議 財団主催

平成 30 年５月 18 日･19 日に第９回訪問リハビリテーション地域リーダー会議が開催されました。年に一度開催されるこの会議は PTOTST の三協会が一丸となって取り組む唯一の活動です。訪問リハビリテーションに関する情報交換と今後の対応を協議する場となっており、全国で実施される訪問リハビリテーション従事者への研修が同じ方向を向き足並みを揃えることが大きな目的の一つとされています。

９回目となる今回の地域リーダー会議は医療保険介護保険同時改定後の開催ということで、全国各地における改定の影響が議論されました。訪問リハビリテーション事業所においては医師の指示の明確化、訪問看護ステーションではリハビリテーションが看護師の代替行為であることが色濃くなるなど、療法士の自立性を考えさせられる改定内容であると思われ、新年度間もないこともあり医師や看護師と十分な連携が図れていないなど各地で混乱している様子が伺われました。リハビリテーションの結果に応じたインセンティブが導入されるなど私たちに対しての期待の大きさは感じられ、まずは改定された制度理解と制度に沿ったリハビリテーションが実践できる環境整備が望まれます。

地域包括ケアシステムの推進により病院完結型医療から地域完結型医療へと時代はパラダイムシフトしており、当然私たち療法士の戦略も変化が求められております。リハビリテーションでは当たり前のように活動参加への支援の必要性が訴えられ、今回のリーダー会議ではそのバイブルとすべく「訪問リハビリテーション従事者による活動参加につながった事例集」及び「訪問リハビリテーション従事者のための人材育成ガイドライン」が配布されました。県士会会員へ還元できるようしっかりインプットできればと思います。

神奈川県作業療法士会を代表し貴重な機会に参加させていただきまして、 ありがとうございました。

## ■訪問リハビリテーション初任者研修会

平成 30 年６月３日、神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会主催の訪問リハビリテーション初任者研修会が横浜リハビリテーション専門学校で開催されました。

訪問リハビリテーション未経験者や従事して１～３年目のセラピストを対象として今年度から初めて開催される初任者研修会でありましたが、県内だけでなく県外からの参加者もあって作業療法士 18 名、理学療法士 49 名、言語聴覚士３名、学生２名の合計 72 名による盛況な研修会となりました。初任者研修とはいえ研修内容は経験年数によらず、明日から使える在宅リハならではの実用的なスキルやリハビリテーションの考え方について学べる充実した時間でした。

認定看護師の濱野先生からは「見えないものを見ようと観察し、考える」フィジカルアセスメントの視点を学び、測定値にどのような意味があるのかを考えること、測定値からどのようなリスクが考えられるかを他スタッフと共有することの重要性を改めて教えていただきました。また、臨床心理士の中村先生からはコミュニケーションをとる上で「相手に興味・尊敬・素直さをもつこと」での成功法や対人関係で生じるストレスへの向き合い方について学ばせていただきました。

申込期間が１ヵ月なかったにも関わらずたくさんの参加者があったことからも、神奈川県内における訪問リハビリテーション従事者が年々多くなっていることを感じます。対象者の生活に寄り添い、その人の生活上必要な活動や主体的に取り組む役割活動に直接的な介入ができる訪問リハビリテーションサービスだからこそ、私たちリハ専門職が備えておくべきリスク管理の視点や対人技能、リハビリテーションの考え方を改めて再認識する研修となりました。

## ■地域ケア会議や介護予防事業に参加している方いませんか

各市町村で総合事業の取り組みが本格化してきています。会員の皆様も地域事業に関わる機会が増えてきますので会員の皆様からも情報を得ながら県士会の事業も進めていければと考えています。ぜひ、会員皆様からも作業療法士が関わっている地域事業がありましたら情報提供をいただければと思います。地域リハ部でだけでなく県士会全体で情報共有していければと思いますのでご協力の方をよろしくお願いします。

ご意見や情報がありましたら下記のメールアドレスまでご連絡をいただければと思います。

【問い合わせ】地域リハビリテーション部
E メール：chiikireha@kana-ot.jp

（文責：遠藤 陵晃）

# 広報部

## ■広報部対外広報班　活動報告

日時　平成 30 年４月７日・８日
場所　相模原地区

第 45 回相模原市民桜まつりに出展しました。今年で６回目の出展です。

ブース内では、自助具の展示や「ボタンエイド」の作製体験、折り紙やけん玉、お手玉などの昔遊びコーナーを設置しました。

２日間で 300 名近くの方がブースにご来場下さり、「今年も話を聞いて欲しくて来たよ」「こういうブースを毎日ひらいてよ」というようなお声もいただきました。パンフレットの説明を通して一般市民の方に『作業療法』を知っていただきました。また、一般市民の方以外でも当事者の方やそのご家族、作業療法士を目指している学生さんなど様々な方との出会いがあり、それぞれが抱く想いを聞くことができました。

地域で暮らしている方の想いやニーズに触れることができ、私たちにとっても貴重な２日間となりました。これからも県央・県西地区を含めた広いエリアで、作業療法への関心を高めていただけるよう広報活動していきたいと思います。

（文責：額谷）

# 教育部　連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」　県士会ウェブサイトから質問ができます！

今号の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、今年度の教育部主催の OT 協会生涯教育制度関連の研修会に関してお知らせします。OT 協会、県士会主催事業には両方の正会員でないと参加できません。先輩会員は、OT 協会、県士会への入会と各種事業への参加をおすすめください。

また、本原稿提出の段階で未定な研修会が多くありますが、例年通り以下の研修会を開催します。開催情報は県士会ニュース、県士会ウェブサイトに掲載しますのでご注意ください。

加えて、今年度は申し込み方法が下半期に変更となります。広報の情報にご注意ください。

1．現職者共通研修：生涯教育制度の必須基礎研修で、認定作業療法士や専門作業療法士になるには最初に受講が必要です。全 10 テーマで、テーマ毎（90 分）に受講します。
※今号チラシに詳細が同封されています。ご確認の上お申し込みください。

2．現職者選択研修：生涯教育制度の必須基礎研修で、領域別（身体・老年期・精神・発達の各障害領域のうち１領域を選択、選択領域は業務の領域とは関係ありません）の２テーマを受講します。受講修了には１テーマ：90 分×４コマの一括受講が必要です。昨年度まではコマ単位での部分受講も可能でしたが受講履歴登録処理上の理由によりコマ単位での受講はできず４コマ一括受講とします。
※今年度は企画検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。

3．事例報告登録制度に関する研修会：事例報告登録は認定作業療法士の申請に必須です。現職者共通研修の「事例報告と事例研究」と組み合わせて、県士会独自の研修会として開催します。
※今年度は企画検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。

教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学）
046-828-2738（直）、kyoiku @ kana-ot.jp
ご不明の点はご連絡ください。
県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

連載
RENSAI COLUMN
コラム

# ちょっと一杯 どうですか？

## No.7「気奥（キ・オ・ク）」

『おじちゃん』って近所の子供たちに呼ばれている私も、自宅近くの病院に勤務する作業療法士。病院では、誰からも『〇〇先生』と呼ばれている。

あんなこと。こんなこと。色んなこと。様々に過去を思い出しては、当時の話の続きをしたり、それに色を着けたり、人とは「キオク」の中に活きている。特に強烈なキオクは鮮明だ。他の人が抱けぬキオクをいつでも再生できるのは、そのキオクの持ち主の特権でもある。だから、その特権を利用し始めた（話し始めた…）持ち主と場所を同席する者は、長編小説の序章にあたかも一緒に立つこととなる。そう、序章の先を聞くも聞かぬも…実のところ、旅は道連れなのだ。実は私もよくこの旅路に付き合うことが多い。その長編小説の主人公の長旅は料金が一切かからないので兎に角楽しくてしょうがない。聞く側も大変!?…である。ある一定の反応や応答では堂々巡りとなり易いので、ひと呼吸をおける着地点が見えてきたらすかさず本編を飛ばして結論を探ったりする。すると、特権を利用した主人公達は、言いたかった結論を重点的に話すことができ、言いたいことをひとまず言えた充実感や達成感に浸ることができる。特権を使い果たした満足感は満面の笑みを作り、次の旅支度をし始める。話した内容の良きも悪しきも、その事実を伝えたことが、彼等にとっての貴重な時間であり、きっと心の奥に潜む気奥（キオク）を反芻させる作業へと変化する。なるほど、旅には色々なツアーコースの種類や特色があると思うけど、我々作業療法士は、いかなる主人公の長旅に対応ができるツアーコンダクターであることも、望ましい一面かもしれない。

先日、スーパーの鮮魚コーナーに立ち寄ったら、珍しいことにタコの頭が１パック置いてあった。「おっ、タコの頭なんか売っているよ。珍しいね。買おう！買おう！これって美味いんだよな～」と妻に催促していると、どこからともなく音もなく“タコの頭は煮てもいいし、美味しいのよ。そうそう、とっても柔らかくてねぇ～”とおばちゃんが出てきて、「そうですよね～」と以前食べたときのキオクを頭に浮かべて答えたら、我々が選ぼうとした最後の１パック 398 円を取っていった。流れるような早業になすすべもなかった。『これはまさにおばちゃんのキオクが私のキオクと融合し、獲物を自分の物にする高度な芸当だ！』と半ばあっけにとられ、可笑しさと妙な関心をもった場面だった。

そういえば、我々が臨床や現場で相手にするのも、キオクをもっている方々だ。この芸達者なおばちゃんの話しも微笑ましいけど、決して現場はそう生易しいものではない。必ずしも全てが楽しく置き換わるものでは当然ない。だって生きてきた時間の分だけキオクがある筈だから。人生の色は色々なのだ。だから、あまりキオクに深く踏み込まないことも、時に敢えてキオクに触れないことも、我々は状況を判断する感覚も重要となる。一方本人にとっての快のキオクは、作業療法プロセスの効果を導ける工夫につながり、求める効果の相乗効果が期待できる。快のキオクが沢山溢れる時は、辛い感情も沈んだ空気もさりげなく和むでしょう。そのときのファシリテーターはきっと作業療法士。ある時は冗談を織り交ぜてクライエントのキオクに着色したり、その話を聞いた周りのクライエントもすかさず応答したり、本人たちを一気に主人公に仕立て上げる作業療法士の成せる業。ほんのちょっとした作業療法の時間も、キオクの共有により新たな Community を作ったり、お互いの存在を確かめたり、助け合ったりする場が自然と完成する。

明日からもそれぞれの現場で、いい頃合いをみてクライアントのキオクに語りかけてみませんか。“そういえば…〇〇さん…”と、彼等の『気奥』キオクに触れるのも、より善い作業療法を醸し出す「さり気ない一手」になるかもしれませんよ。いつでも主人公はクライアントです。皆さんも楽しい作業療法場面を是非提供して下さいね。

今回も登場した“おじちゃん”。OT を一生涯の仕事と決意し、長い OT の歴史と共に奮闘している“おじちゃん”です。あくまでもおじちゃん視点での作業療法学を織り交ぜた連載コラムです。面白エピソード満載です。次回もお楽しみに。

# 理事会報告

**★平成29年(2017年)度3月理事会議事録**

Ⅰ．日　　時：平成30年３月８日（木）19：00～21：30
Ⅱ．場　　所：神奈川県作業療法士会事務所
Ⅲ．出席理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・作田・村越・澤口・大郷（17名）
欠席理事：野本・名古屋・佐藤（３名）
出席監事：田中・楜澤（２名）
そ の 他：明立・横山（共に事務局　書記）

## Ⅳ．審議事項

### １．次年度予算検討について

会費の銀行引き落としが開始となり、年度初めにまとまった収入が入るようになった。収入が安定したので予算検討のやり方を変更し、提案・検討した。⇒承認

### ２．事務局

⑴横浜市障がい認定審査会委員について
名古屋和茂氏（横浜 YMCA 学院専門学校）⇒承認

### ３．福利部

⑴神奈川県士会功労表彰及び特別功労表彰者の推薦について
10 名の会員を表彰者として推薦する。特別功労表彰は４名。功労表彰者は６名。

### ４．認知症対策委員会

⑴委員承認
足立雄介氏（間中病院）
山口拓也氏（鶴巻温泉病院）⇒２名とも承認

## Ⅴ．報告事項

### １．事務局

⑴理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会報告書
ウェブサイトへ掲載、周知した。

### ２．学術部

⑴神奈川助成金制度について
来年度から助成金制度の要件が一部変更となるため、規約の修正作業を行い、今後会員に向けて周知していく。

### ３．広報部

⑴『第 14 回かながわリハビリテーション・ケアフォーラム』ブース出展
一般県民対象：パンフレット配布・災害時の支援や工夫についての相談・アンケート聴取＊制度対策部災害対策事業班と協力しブース運営を行った。
⑵『第５回リハビリフェスタ」視察
神奈川県県西地区リハビリテーション連絡協議会主催のイベント。来年度はブース出展予定。県西地区の広報活動も拡大していく。

### ４．地域リハビリテーション部

⑴神奈川県建築士会研修会「賃貸住宅に暮らす脳卒中患者の退院時住宅環境整備」
講師として協力参加。
⑵神奈川県主催「リハビリテーション専門職等介護予防指導者研修会」
講師として協力参加。

### ５．制度対策部

⑴会員被災状況確認システムのデモ運用の実施
２月の OT 協会主催の「災害発生を想定した訓練の実施」に合わせて、デモ運用を行う。２月 10 日まで実施。337 件の応答があった。居住地区選択のプルダウンでモレがあった。

### ６．学会評議委員会

⑴第３回神奈川県臨床作業療法大会
2018 年７月 29 日（土）会場：はまぎんホールヴィアマーレ
1)一般公開シンポジウム ～気になる子どもたちへの支援の工夫～　午前
2)口述発表　午後

### ７．認知症対策委員会

⑴若年性認知症の人と家族の会つどい参加
今後家族の会と具体的な関与について相談予定
⑵藤沢市保健予防課・障がい福祉課＆藤沢病院主催の相談会にブース出展

### ８．地域包括ケアシステム推進委員会

⑴来年度の横浜市地域リハビリテーション活動支援事業について
横浜市での保健師向け研修会にて作業療法士の活用方法をプレゼンした結果、派遣回数が増加となった。54 回⇒ 63 回
派遣回数の増加により、事業に参画できる会員の募集および育成を早急に進めていく必要がある。
⑵ OT 協会の総合事業実践事例集の作成協力
横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の取組が掲載させることとなった。全国８事例のうちの一つ。

### ９．渉外活動

⑴鎌倉市健康づくり・介護予防事業（吉本理事）
内容：認知症と予防について、認知症の基礎知識・コグニサイズ・学習療法
⑵神奈川県介護人材確保対策推進会議　（金山事務局長）
2025 年までに２万５千人不足するといわれている介護人材の確保に取り組む体制構築に関する会議。

以上

（文責：金山・明立・横山）

# 研修会案内

● 2018 年医療・介護同時改定からの
リハビリ大改革セミナー（東京会場）
主　催：日本通所ケア研究会
日　時：2018 年 8 月 3 日
場　所：国際ファッションセンター
ＵＲＬ：https://tsuusho.com/skill/reha/

●第 2 回（2018 年度）ハンドセラピィの全国研修会
主　催：一般社団法人　日本ハンドセラピィ学会
日　時：2018 年 8 月 4 日・5 日
場　所：朱鷺メッセ
ＵＲＬ：http://jhts.org/

●【リハビリテーション栄養～基礎知識と臨床での評価・介入のポイント～】（横浜会場）
主　催：Medical MARKSTAR
日　時：2018 年 8 月 5 日
場　所：ウィリング横浜
ＵＲＬ：https://www.markstar.net/nst/

●『脳卒中リハビリテーションの理論と技術』
千里リハビリテーション病院 副院長 吉尾雅春 先生
主　催：NDK 横浜研修
日　時：2018 年 8 月 11 日
場　所：ウイリング横浜
ＵＲＬ：http://ndkyokohama.net/

●第 49 回三浦半島作業療法研究会「事例報告」
主　催：三浦半島作業療法研究会
日　時：2018 年 8 月 17 日
場　所：神奈川県立保健福祉大学
ＵＲＬ：http://miuraot.kenkyuukai.jp/event/

●全身の筋緊張制御を行うポジショニングからの
摂食嚥下リハビリテーション理論編 ×実技体感編
主　催：日本ユニバーサル リハビリテーション協会
日　時：2018 年 8 月 17 日
場　所：八王子市芸術文化会館いちょうホール
ＵＲＬ：http://universalreha.com/

● PT・OT・ST・NS のためのデイで効果を上げるための
リハ・プログラムセミナー（東京会場）
主　催：日本通所ケア研究会
日　時：2018 年 8 月 18 日
場　所：国際ファッションセンター
ＵＲＬ：https://www.tsuusho.com/skill/reha_program/

●立ち直り反応からみる基本動作分析とアプローチ法
主　催：療法士活性化委員会
日　時：2018 年 8 月 18 日
場　所：ウィリング横浜
ＵＲＬ：http://lts-seminar.jp/risingup/

●【OT 限定】ADL 訓練を効率的に行うための触診セミナー
主　催：療法士活性化委員会
日　時：2018 年 8 月 19 日
場　所：ウィリング横浜
ＵＲＬ：http://lts-seminar.jp/adl/

●アクティビティ インストラクター資格認定セミナー
主　催：認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会　高齢者アクティビティ開発センター　日本作業療法士協会 SIG 団体
日　時：2018 年 8 月 18 日、10 月 17 日、2019 年 1 月 27 日、3 月 24 日
場　所：中野サンプラザ
ＵＲＬ：http://www.aptycare.com/instructor_tokyo.html

●【脳卒中片麻痺者に対する基本動作の評価とアプローチ】（横浜会場）
主　催：Medical MARKSTAR
日　時：2018 年 8 月 26 日
場　所：ウィリング横浜
ＵＲＬ：https://www.markstar.net/basic-movement/

●第 48 回日本リハビリテーション工学協会
車いすＳＩＧ講習会 in 厚木
主　催：日本リハビリテーション工学協会　車いすＳＩＧ
日　時：2018 年 9 月 1 日・2 日
場　所：アミューあつぎ
ＵＲＬ：http://www.wheelchair-sig.jp

●動作時に体幹を使えるようになるための徒手アプローチ研修会
主　催：国際統合リハビリテーション協会
日　時：2018 年 9 月 8 日
場　所：東京都内で調整中
ＵＲＬ：https://iairjapan.jp/events/event/core_tokyo

● A-ONE 認定評価者講習会（2018）
主　催：日本 A-ONE 研究会
日　時：2018 年 9 月 11 日～ 16 日 6 日間
場　所：広島大学医学部保健学科棟
ＵＲＬ：http://island.geocities.jp/aoneasacom/#

●評価の抽出とスクリーニング検査法
主　催：療法士活性化委員会
日　時：2018 年 9 月 15 日
場　所：ウィリング横浜
ＵＲＬ：http://lts-seminar.jp/assessment/

●明日から臨床で結果の出せる上肢セミナー
主　催：進リハの集い
日　時：2018 年 9 月 23 日
場　所：ウィリング横浜
ＵＲＬ：https://www.shinreha.com/blank-9

# 事務局からのお願い

**●休会される方**　来年度に休会予定の方は、前年の **12 月 31 日**（末日消印有効）までに①『休会届』と②『証明書』を郵送でご提出願います。**（FAX 不可）**。

**●退会される方**　年度内に退会予定の方は、**3 月 15 日**までに『退会届』を①郵送又は② FAX にてご提出願います。**（上記日必着）**。

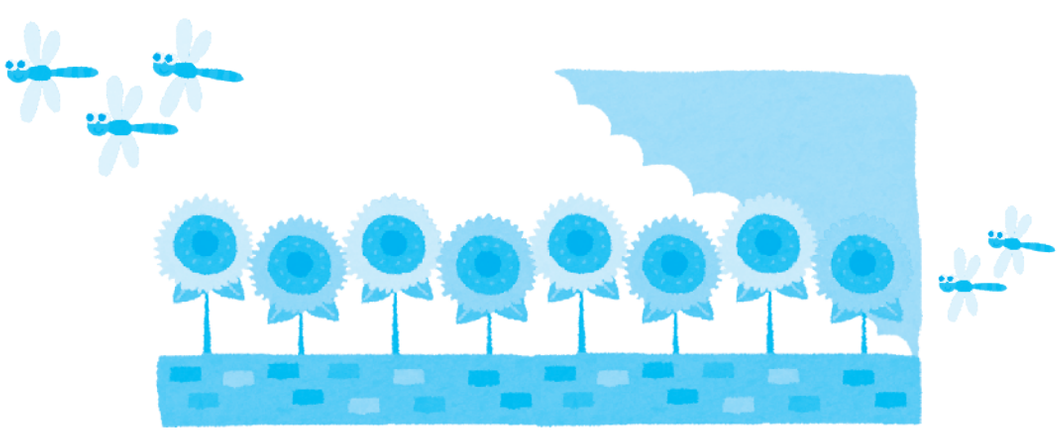
**●届出内容を変更される方**　住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は② FAX にてご提出願います。（随時受付）。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**の INDEX より、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

## ■研修会の受付方法が変わります！

今までメールに必要事項を記入していただいていましたが、秋開催の研修会から必要事項をフォームに記入していただく形に変更していきます。「あれ、何を連絡するんだっけ？？？」というモヤモヤから解消！？申し込み方法は各研修会のチラシや HP をご確認ください。

（文責：事務局 金山）



# 作品コーナー

作品名　ちょっとひと手間　かわいいお人形

制作者　澤田 富與子 様（73 歳）

**プロフィール**　脊髄疾患により指がしびれて動きにくい。親指とひとさし指で作りました。

**作品について**　着物の箸袋を作りましたが、お食事が終わった後でも楽しめるようアレンジして人形にしました。家族で楽しく作ってお客様をおもてなしできる作品です。お持ち帰りいただいても、楽しいお食事の思い出になると思います。

担当作業療法士：吉村 由美 氏（特別養護老人ホーム　さくらの里山科）

## 編集後記

暑い！熱い！日本中がサッカーＷ杯に熱狂しましたね。日本のサッカーは前評判が悪く監督交代劇もあった中結果ベスト 16 でしたが、試合を見ていると手に汗を握る熱戦でした。残念ながらベルギーには負けてしまいましたが、今度はカタールＷ杯ですね久保君がベスト８に連れてってくれるかな？Ｊリーグもポドルスキにイニエスタ、フェルナンドトーレスなど欧州からスター選手が続々と来日しています。これからの日本サッカー界も楽しみだ！

(Rex.h)

**一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース**
〈192号〉2018年8月発行（年6回発行）

発行責任者　錠内 広之
編集責任者　神保 武則
編 集 担 当　出口 弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）
山岡 洸（湘南慶育病院）／佐藤 愛（新戸塚病院）
安田 優子（横浜旭中央総合病院）／丸岡 ちひろ（済生会横浜市東部病院）
井部 賢吾（ハートケア横浜小雀）／松井 洋鷹（渕野辺総合病院）
印刷　発送　株式会社髙陽印刷所
事　務　局　〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号
TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金　10：00～15：00
メールアドレス：jimu@kana-ot.jp
一般社団法人　神奈川県作業療法士会ウェブサイト
https://kana-ot.jp➡作業療法　神奈川　検索
Facebook　https://www.facebook.com/kaotwebkan
Twitter　https://twitter.com/kaotwebkan